



▲タイトル「peacock」



第47回岩手県高等学校総合文化祭美術工芸展
絵画部門 特賞

あべ ひな
阿部 陽菜さん
(久慈高等学校3年)



▲タイトル「廻」



第47回岩手県高等学校総合文化祭美術工芸展
絵画部門 特賞
※令和7年度全国高文祭推薦

みかみ さくら
三上 桜さん
(久慈高等学校2年)

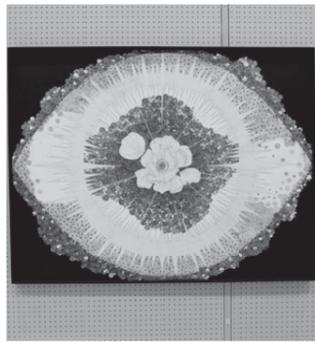
点描画に取り組みでいて、技法を生かせるクジャクが羽を広げている様子を描きました。目や体など場所によって点の大きさを変えるように工夫し、満足のいく作品に仕上がりました。入賞はありましたが、3年生で初めて特賞を取ることが出来てうれしいです。

中学校の修学旅行で見た被災した校舎に芽が出ている光景から、時間の流れることへのマイナスのイメージの中でいいこともあると感じた気持ちを描きました。廃電車で植物が茂る絵で表現。自分の好きなことを描いて、評価してもらえたことがうれしいです。



第23回岩手県中学校総合文化祭
ポスターの部 最優秀賞

さきはら はるみ
笹原 桜妃さん
(久慈中学校3年)



▲タイトル「纏う視線」



第47回岩手県高等学校総合文化祭美術工芸展
絵画部門 特賞

さいとう わかな
齊藤 和奏さん
(久慈高等学校2年)

募集テーマの再発見を女の子のポーズで表現。文化の良さを再発見してほしいと鹿踊りやさんさの太鼓を取り入れました。絵の中央は鉛筆でデッサンのように描き、絵の文化を表現がした点がうまくなりました。県のコンクールでの最優秀賞は初めてでうれしいです。

自分の思いを込めて描くのが好きで、他人の視線を気にする自分をイメージしました。中心が目になっているたくさんの花でまわりつく視線を表現。引いてみると大きな目に見えます。前年に続き、特賞を取ると宣言していたので有言実行できてよかったです。



第70回青少年読書感想文コンクール
高等学校の部
最優秀賞(課題図書)

たきざわ きらら
滝澤 光来さん
(久慈高等学校1年)

自分が感じたことを素直に出せるように、取り組みました。5回下書きを重ね、6回目である程度納得のいく感想文に仕上がってよかったです。小学校1年生から読書感想文に応募を続けていて、ようやく最優秀賞を取ることができました。



高校生ものづくりコンテスト
2024岩手県大会
旋盤作業部門 第1位



ねい りさこ
根井 琳沙子さん
(久慈工業高等学校1年)

授業が終わってから、毎日練習に取り組みました。初めての出場、女性では部門初めての1位を取れるとは思っていなかったのがうれしいです。これからは数値の正確ないものを作ることができるよう頑張ります。来年も出場したいです。



第47回岩手県高等学校総合文化祭
映像部門 特賞

映像はQRコードから閲覧することができます▶

こまざわ はるか
駒澤 遥香さん
(久慈高等学校3年)

ストーリー性のあるものを作りたいとアニメーションに挑戦。一頭の馬の一生を表現しました。受験との両立は大変でしたが、自分の絵を動かすことに力を入れて取り組みました。自身初めてで、映像部門では一人だけの特賞だったので感無量です。

2024年度岩手県小・中学校新聞コンクール 1学年学級新聞の部、2学年学級新聞の部

最優秀賞 久慈中学校 1年A組 久慈中学校 2年A組

岩手県新聞教育研究協議会が開催する2024年度岩手県小・中学校新聞コンクールで久慈中学校1年A組、2年A組がそれぞれ1学年学級新聞の部、2学年学級新聞の部で最優秀賞を獲得しました。

■**嵯峨** 伝えたいことが分かりやすい表現を目指しました。時間をかけて担当以外の部分も協力して取り組んできたので、受賞できてうれしいです。

■**関添** 最優秀賞をとろうとみんなで話していたので、現実になってうれしいです。製作を通して協力することの大切さを学びました。

■**坂上** 計画を立てて実行することの大切さを学びました。良いものを作るために意見を出し合わないといけないので、関係も大事だと思いました。

■**大石** 学校の文化祭では受賞できなかったのですが安心してうれしいです。一人では限界がありますがみんなでやれば何でもできると実感しました。



左から1年A組嵯峨紅音さん、関添琴菜さん、2年A組坂上ジーナさん、大石直佳さん



▲1年A組学級新聞「氣勢」



▲2年A組学級新聞「無双」



左から齊藤壘さん、松本惇希さん、小向紫音さん、森暁太さん

第25回岩手県スポーツ少年団空手道交流大会 小学5、6年男子団体形、組手

優勝 久慈三船スポーツ少年団 (形:小向紫音、松本惇希、森暁太) (組手:小向紫音、松本惇希、齊藤壘)

令和6年9月15日に開催された第25回岩手県スポーツ少年団空手道交流大会の小学5、6年生男子団体形、組手それぞれで久慈三船スポーツ少年団が優勝しました。

■**小向** キャプテンとして大会に臨み、形と組手それぞれで優勝できてよかったです。中学生になりますが、全国制覇を目標にがんばります。

■**森** 3人の動きを合わせ、形の練習を繰り返して練習してきました。大会ではギリギリ勝つことができてよかったです。

■**齊藤** 間合いにいる相手の動きを予想して、動くことができました。優勝できてうれしいです。

■**松本** 個人団体のどちらも優勝することができたので良かったです。



まつもと あつき
松本 惇希さん
(久慈三船スポーツ少年団)

第25回岩手県スポーツ少年団空手道交流大会
小学5年男子組手 第1位
小学5年男子形 第2位

間合いに入るのが課題で、父と自主練習してきました。大会では強い相手にも大差で勝つことができました。しばらく組手で優勝できていなかったのですが、やっと優勝できてうれしいです。これからはキャプテンとしてチームをまとめ、同じ目標をもってがんばっていきたいです。